

平成28年度事業報告書

平成28年4月1日から

平成29年3月31日まで

1. 会員数の推移

2. 事業概要報告

(注) 事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していません。

一般社団法人関西ニュービジネス協議会

1. 会員数の推移

種別		年月日	平成 27 年度 28 年 3 月 31 日	平成 28 年度 29 年 3 月 31 日	増 減
正 会 員	法人A		69	66	△ 3
	法人B		52	44	△ 8
	個人企業		17	15	△ 2
	小 計		138	125	△ 13
賛 助 会 員	法 人		4	3	△ 1
	個人A		7	6	△ 1
	個人B		25	18	△ 7
	小 計		36	27	△ 9
合 計			174	152	△ 22

○平成 28 年度実績

<平成 28 年度別の別会員数>

平成 29 年 3 月 31 日現在	
大 阪	63
京 都	20
兵 庫	19
福 井	1
滋 賀	4
奈 良	15
和歌山	30
合 計	152

<平成 28 年度入退会実績>

平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 3 月 31 日		
入 会	法人 A	2
	法人 B	2
	個人企業	0
	賛助法人	0
	賛助個人A	1
	賛助個人B	0
	小 計	5
退 会	法人 A	5
	法人 B	10
	個人企業	2
	賛助法人	1
	賛助個人A	2
	賛助個人B	7
小 計	27	
合 計		△ 22

2. 事業概要報告

平成 28 年度、当協議会は昨年度に引き続き、イノベーションとベンチャーで経済成長を担う若い人材が集まる活気ある関西をつくるための諸事業を、近畿経済産業局はじめ関係諸団体との連携のもと、取り組んでまいりました。

歴史ある「NBKニュービジネスアワード 2016」は、『アントレプレナー部門』と『ビジネスプラン部門』の 2 部門に分け、門戸を広くしました。

例年開催している「NBKフェスタ」は、「起業家による起業家のための祭典」をテーマに、25 周年事業としての意味合いも兼ね、実りあるイベントとなりました。

「女性輝き部会」、「起業の鉄則研究会」、「ニュービジネスカフェ」などの既存支援事業の活動については、さらに活発化を図り、ニュービジネスの種が集まってくるような仕組みづくりを行いました。

さらに、委員会を 7 つに増設し、NBK 全体事業の円滑な推進とその他特別事業の推進を目指しました。

中小企業庁が実施している『地域需要創造型等起業・創業促進事業』の大阪府事務局業務、『創業スクール』業務、及び『おおさか地域創造ファンド』事業も前年度に引き続き実施いたしました。

平成 28 年度の当協議会の事業活動に当たり、会員企業はもとより関係行政および関係諸団体並びに大学・研究機関等の多大なるご支援ご協力を賜りましたことに対し、厚くお礼申し上げます。

■全体事業

(1) 総会、理事会、幹部会等について

第4回定時総会を5月に開催。理事会を5月、9月、12月(書面)、1月、3月の計5回開催。会員の交流事業として、新年交流会を1月に開催した。

(2) 「NBKフェスタ 2016」の開催について

11月10日(木)、「NBKフェスタ 2016」をグランフロント大阪 北館ナレッジキャピタル3階「URGE」において開催した。テーマは、『起業家による起業家のための祭典(フェスタ)』。

全体は2部構成で、第1部ではスーパープレゼンテーションとNBKニュービジネスアワード公開プレゼンテーション、第2部ではNBKアワード2016の投票結果発表・表彰式とニュービジネスに関係のある方々が集う交流会を実施した。

実施概要は次の通り

<第1部>

- ・スーパープレゼンテーション『タニタのヘルスマーターで世界No.1になり、社会的話題の「タニタ食堂」誕生秘話を語る』

講師：谷田 大輔 氏 株式会社タニタ 前代表取締役社長

- ・NBKニュービジネスアワード公開プレゼンテーション

<第2部>

- ・「NBKニュービジネスアワード2016」グランプリと各賞発表・表彰式
- ・交流会

(3) 「NBKニュービジネスアワード」について

ニュービジネス企業及び起業家の育成を目的として、関西地域において独創的かつ市場性のあるニュービジネスを展開している、また、ビジネスプランを実現しようとしている企業・団体・経営者及び学生の中から事業及びビジネスプランを総合的に評価し、優秀者に対して表彰・公表を行うことにより、それらのニュービジネス・経営者の事業成長の支援を図るものである。

<選考及び発表>

- ・6月1日から8月31日までを募集期間とし、アントレプレナー部門12件、ビジネスプラン部門5件、合計17件の応募があった。

選考期間：9月1日～10月31日

選考委員会を開催し、書類及び事前選考と候補者によるプレゼンテーション選考により、部門賞を選出した。

各部門賞は次の通り。(順不同)

◆アントレプレナー部門

【ニュービジネスグランプリ】【近畿経済産業局長賞】【ニュービジネス賞】

対象事業：地域ショップ集客支援のための

「ローカルインフルエンサープロモーション事業」

会社名：株式会社レポハピ

代表者：代表取締役 原 武嗣

【ニュービジネス賞】

対象事業：民生用ウェアラブル機器とクラウドのサービス
会社名：ウエストユニティス株式会社
代表者：代表取締役 福田 登仁

【ニュービジネス賞】

対象事業：紙製ボード（リボード）による什器・ディスプレイの製造・施工
会社名：株式会社カワグチマック工業
代表者：代表取締役 川口 徹

【ニュービジネス賞】

対象事業：小径パイプ内面粗度非破壊測定装置の開発
会社名：二九精密機械工業株式会社
代表者：代表取締役 二九 良三

【海外賞】

対象事業：国境を越えた求人・求職プラットフォーム「HRDatabank」
会社名：株式会社 HRDatabank
代表者：代表取締役 ジョン・セーヒョン

【女性起業家賞】

対象事業：ハンドメイド・ホビー等のオンライン学習
会社名：株式会社 Boosters
代表者：代表取締役 南出 淳子

◆ビジネスプラン部門

【最優秀賞】

対象事業：低価格 MR（複合現実）デバイスの開発販売
チーム名：UmiLab（ウミラボ）
代表者：Wong Lawrence（ウォンローレンス）
神戸大学大学院 システム情報学研究科 博士後期課程

【優秀賞】

対象事業：高齢者向けの無動力歩行補助機器の開発
氏名：Fu Chunjiang（フ シュンコウ）
大阪大学大学院 基礎工学研究科 特任研究員

<公開プレゼンテーション・最終選考・表彰>

11月10日（木）、「NBKニュービジネスアワード2016」公開プレゼンテーションと最終選考会をグランフロント大阪 北館ナレッジキャピタル3階「URGE」において開催し、株式会社レポハピがNBKニュービジネスアワード2016 グランプリ並びに近畿経済産業局長賞を受賞した。

(4) 「夏のビッグイベント 2016」の実施

8月29日(月)、ホテルオークラ神戸において、「夏のビッグイベント 2016」((公社)兵庫工業会、兵庫県中小企業団体中央会、(公財)ひょうご産業活性化センターとの共催)を開催した。NBKの分科会では、先端医療センター病院の栗本康夫眼科統括部長をお迎えし、「iPS細胞を用いた網膜の再生医療」をテーマにした講演会を行い、加えて、近畿経済産業局からiPS細胞に代表される再生医療の産業化の実現に必要な環境整備の取組みについて、ご紹介いただいた。

(5) 大阪ベンチャー&サポーター合同交流会の実施

3月15日(水)、大阪産業創造館17階交流フロアで「大阪ベンチャー&サポーター合同交流会」を実施、ベンチャー企業17社がプレゼンテーションを行った。エンジェルやベンチャーキャピタルといった支援者側との個別ミーティングも実施。当日は各団体関係者、支援対象のベンチャー企業、ベンチャーキャピタル、金融機関、エンジェル、公的機関の担当者などが参加し、好評を博した。

(6) 女性起業家応援プロジェクト「LED関西」への参画

経済産業省・近畿経済産業局が実施する「女性起業家等支援ネットワーク構築事業」の中核イベントであるビジネスプラン発表会『女性起業家応援プロジェクト「LED関西」』が1月24日(火)、グランフロント大阪で開催され、例年通りサポーターとして参画した。当日は450名の参加者で賑わった。ファイナリストの中からNBKサポーター賞として3社を選出、今後NBKとして支援していく。

(7) 広報活動について

◆NBKホームページ

会員企業、新規事業支援機関、大学・研究機関の支援施策、ニュービジネス関連事項、NBK関連事業(NBKアワード、経営セミナー等)の案内や、公益法人としての情報開示を行った。アクセス数は約15,000件/月であった。

◆ニュービジネス情報「NBKニュース」のEメール配信

関係機関等の最新のニュービジネス情報、NBK活動案内、ニュービジネスに係わるイベント案内を、会員並びに配信希望のある非会員を含め1,500人(企業)に月平均1回配信した。

(8) JNB(日本ニュービジネス協議会連合会)関連について

JNB定時総会を6月に、臨時総会(書面)を7月に開催。理事会を6月、8月(書面)、11月、3月の4回開催。全国会長会議を6月、11月、3月に、事務局代表者会議を8月に開催。10月には「第12回新事業創出全国フォーラム」を徳島で開催した。また、新春賀詞交歓会を1月に開催。

(JNBの主な事業活動)

- ①協議会相互の情報交流とニュービジネス情報の共有
- ②地域協議会会員の企業成長のための事業交流(ビジネスマッチング)
- ③ニュービジネス政策への提言反映及び行政とのタイアップ活動
- ④地域協議会の強化と全国への展開
- ⑤ニッポン新事業創出大賞の実施

■創業補助金事業（平成 24 年度及び 25 年度補正予算事業）

新たに起業・創業や第二創業を行う女性や若者に対して事業計画を募集し、計画の実施に要する費用の一部を補助することで、地域需要を起こすビジネス等を支援する「創業補助金」事業の地域事務局（大阪府）として、補助事業者の後年度管理を行った。

（事業期間：平成 28 年 4 月 1 日～32 年 12 月末日

交付数：平成 24 年度 218 件、平成 25 年度 162 件）

■地域創業促進支援事業

昨年に引き続き、創業希望者に対し創業に必要な財務・税務等の基本的知識の習得やビジネスプランの作成支援を行う「関西アントレプレナーズ創業スクール・女性起業家コース」事業を、9 月 13 日から 11 月 19 日まで、合計 13 回実施した。

■おおさか地域創造ファンド・大阪中央地域支援事業

起業家教育の普及を目的として、高等学校及び高校生を対象に「起業家教育プログラム」を提供する事業を実施した。今年度は前年度に引き続き、出前講義を大阪府下の 4 校において実施し、講義のプログラムを CD パッケージにまとめた。

■次世代育成委員会

「起業家教育プログラム」を企画・推進し、出前講義、CD パッケージの製作を行った。また、大阪府立大学の「高校生起業家教育講座」への協力を行った。

■アントレプレナーシップ醸成委員会

「関西アントレプレナーズ創業スクール」の企画・実施を行った。

また、近畿大学の定例講演会「なかなか聞けない経営者のホンネ！」成長企業の創業者が教える“採用される学生”への協力を行った。

■NBK フェスタ運営委員会

NBK アワードをはじめとする NBK 事業及び委員会活動との連動を図り、また、25 周年事業としてふさわしい「NBK フェスタ」の企画・推進・実施を行った。

■NBK アワード運営委員会

NBK アワードの募集・選考・表彰にかかる運営を行った。本年度よりアントレプレナー部門・ビジネスプラン部門の 2 部門に分け、より多くのニュービジネス企業・起業家を発掘・育成することに力を注いだ。

■起業育成委員会

(1) 起業の鉄則研究会

ベンチャー企業の経営者や研究会メンバーによる講演会などを中心に、神戸の会場で第2土曜日に11回開催。起業に関する情報提供を通じ、起業家の創出、育成を支援した。

■情報交流委員会

(1) ニュービジネスカフェ

新しいビジネスモデルを「創ろう 探そう 見つけよう」としている方々の情報交換の場として、8月、10月、11月、12月、1月、2月の6回開催。起業・ニュービジネスに関心を持つ経営者や学生等の方々と交えディスカッション、交流を図った。

(2) 女性輝き部会（JKB）

9月、12月にコアメンバー打合せ会を、10月、2月、3月に女性輝きセミナーを開催。担当を部会員が持ち回りで行い、結果、幅広い分野の例会を開催することができ、好評であった。また、近畿経済産業局等がLED関西のファイナリストに3名に対し、支援を行うためのヒアリング会を3月に開催した。

■総務・広報委員会

NBK全体事業を円滑に推進するため、会員拡大に関する事項の検討、広報活動の強化などを行った。また、25周年記念誌を企画・製作した。

■地域委員会

①大阪ブロック

他のNPO、経済諸団体や各国領事館との関係を深め、大阪における同趣のエネルギーが分散しないように連携を図った。また、新規会員獲得に向けての各種活動を行った。

②京都ブロック

京都・関西におけるニュービジネスの創出を目的として、京都産業育成コンソーシアムとの連携を強化し、新規会員獲得に向けて動いた。

既存会員が相互研鑽する機会を設け、NBKフェスタにつなげることを目的に、例会を5回開催した。

③兵庫ブロック

起業の鉄則研究会、夏のビッグイベント等のNBK事業の企画・運営を行った。また、兵庫県下の団体との連携を強化し、NBKアワードの募集につなげた。

④滋賀ブロック

10月に堀場製作所「びわこ工場 HORIBA BIWAKO E-HARBOR」の見学会を開催した。見学会には他ブロックからの参加もあり、地域会員間の親睦も図ることができた。

⑤奈良ブロック

28年9月に運行を開始したばかりの近畿日本鉄道の「青の交響曲」の吉野～阿部野橋間の乗車視察を11月に行った。阿倍野駅到着後は、天王寺公園の商業施設「てんしば」及び、夕陽丘界隈の真田幸村ゆかりの地の視察を行った。ブロック会員間の親睦を図ると共に、他地域の潜在能力を学び、ニュービジネス発見の契機とした。

⑥和歌山ブロック

お互いの交流の中で刺激し合い、経営技術やモノづくりで企業価値を高め、起業家精神を磨くことを目指し、地元の行政及び諸団体と連携を保ちながら、会員企業の事業紹介を交えた例会を実施した。

通常例会を7月、11月、3月の3回実施。例会では毎回、出席者のスピーチに関する質疑応答や講演会での話題に関する質問があり、有意義なものとなっている。

⑦福井ブロック

今年で27回目を迎えた北陸最大規模の産学官交流イベント「北陸技術交流テクノフェア2016」(10月8、9日開催)に共催した。